

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議の名称 令和2年度 岐阜県立関有知高等学校 第2回 学校運営協議会

2 会議の構成 学校運営協議会委員

丹 羽 章	中部学院大学 事務局長
森 茂 夫	関市立下有知中学校 校長
小 島 祐 治	関青年会議所 理事長
山 田 あつ子	特別養護老人ホーム ハートフル 施設長
北 村 隆 幸	せき・まちづくりNPOぶうめらん 代表理事
佐 藤 豊	関有知高等学校PTA 会長

学 校 側

谷 口 正 明	校 長
森 里 志	事 務 長
野々村 健	教 頭
大 野 広 行	総務部長
名 和 憲 一	教務主任
福 山 美 苗	生徒指導部長
原 和 幸	進路指導部長
水 阪 文 恵	生活福祉科主任
栗 田 真 吾	特別活動係長
工 藤 陽 太	記 録

3 会議の目的

- ・学校運営の基本方針を説明して、意見を伺う。
- ・学校運営協議会委員と学校の現状・課題等を共有し、ご意見をいただくとともに、学校運営の基本方針を承認していただく。

4 会議の開催 令和2年12月3日(木) 9:30~11:30
場 所 岐阜県立関有知高等学校 会議室
・学校運営協議会委員6人、学校側9人が出席。

5 会議の概要

(1) 校長の挨拶

- ・コロナ禍での学校の様子について。
- ・全生徒への一人一台タブレットの整備及びタブレットで学習支援ソフトを使用した本日の授業参観について。

(2) 日程説明

	司 会	(教頭)
1 校長挨拶	9:30～	(校長)
2 各分掌からの報告	9:30～ 9:50	
①総務部 「関有知ジモト大学online」について		(大野)
②教務部 新しい教育課程編成に向けて 「Prossima Fase(次へのステージ)」		(名和)
③進路指導部 3年生の進路状況		(原)
④家庭教育部 コロナ禍における活動報告		(水阪)
3 実習及び授業見学等	9:50～10:40	(教務)
・1-2 音楽 (学習支援ソフトの活用)		(吉田)
・1-3 コミュニティ英語Ⅰ 学び直し (ICT機器の活用)		(福富)
・2-4 生活福祉科 ピアノ講習会 (外部人材の活用)		(水阪)
・3-3 政治経済 コロナハラスメント (人権週間)		(荒木)
【 休 憩 】	10:40～10:50	
4 委員の方々からご感想・ご意見等拝聴	10:50～11:30	(委員)
5 校長挨拶		(校長)

(3) 各分掌からの報告

総務部長・教務主任・進路指導部長・生活福祉科主任より、それぞれの役割と活動内容について説明した。

- ・中学生対象の学校見学会を、感染対策を徹底した上で、10月に実施した。実際の授業を公開できないため、授業の映像を用いてプレゼンテーションを行った。
- ・「関有知ジモト大学 online」について、せき・まちづくりNPO法人「ぶうめらん」の担当者に来校していただき、生徒に概要を説明していただいた。

テーマ：「仕事を簡単にWebで体験してみよう」

整体師、ヘアアーティスト、革職人などに来ていただき、生徒にオンライン講座を行う。

- ・新しい教育課程編成に向けて、パワーポイントで過去10年の本校の様子を映しながら、「Prossima Fase(次へのステージ)」について説明した。
- ・生徒指導は、SNSが関係する事案が多くなっている。
- ・今後近隣の中学校を交えながら、本校の在り方を模索していく。
- ・昨年度の進路状況より、就職希望生徒が増えている。
- ・今年度の進路状況は、コロナ禍の影響もあり管内の求人数が3割ほど減少したが、現時点で9割ほど内定している。
- ・1・2年生対象のオンライン職業体験など、コロナ禍で制約がある中、キャリア教育を行った。
- ・生活福祉科では、できる範囲内で工夫して実習を行っている。
- ・保育園での職場実習はできないが、高校生が作った製作キットを贈呈して、園児に楽しんでもらっている。

(4) 校内の見学 (教務)

- 1-2 音楽：学習支援ソフトの活用
- 1-3 英語：ICT機器の活用・学びなおし
- 2-4 家庭：ピアノ講習会外部人材の活用
- 3-3 公民：コロナハラスメントに関する授業

(5) 委員の方々からのご感想・ご意見等

- 感想&意見1
- ・スポーツ大会でPTAからドリンクを提供し、少しではあるが活動できた。
 - ・一月、二月に換気のため、教室や廊下の窓を開けたまま授業をするのは寒そうだ。
→授業中も防寒具の着用を認めており、柔軟な対策を実施している。
 - ・タブレットを使用した授業については、タブレットありきになり、漢字等の基礎基本の定着がおろそかになりそうで心配である。
- 感想&意見2
- ・タブレットを使用した授業を見て、面白そうだと感じた。
 - ・本校のビジョンを再定義しておくことが必要だと感じた。
 - ・ビジョン策定のためのワークショップなどを行うとよいのではないか。
 - ・進路についての説明で、県外企業からの求人票が減っていることに驚いた。
 - ・進路が決まらない生徒へのサポートをどのようにしているか？
→昨年度、自分の進路ビジョンが確立するのを待つため、敢えて進学・就職せず、未定のまま卒業した生徒が7人いた。
→職業斡旋団体との繋がりが現時点では乏しいので、今後支援が必要な生徒のために、繋がりができるとありがたい。
 - ・地域人材の活用など、地域の協力を得て、学びなおしの講座を実施していくことが大切だ。
→本校生徒にとって学びなおしは大切だ。機会があれば、地域と連携したい。
- 感想&意見3
- ・学校のオンライン化やICT化が進んでいることに驚いた。
 - ・コロナ禍で生徒の心情にどのような変化が見られるのか？
→授業時間確保のため、窮屈なスケジュールで進んでおり、メンタル面の心配はしている。
→近年、問題行動は減ってきているが、今年度については、生徒の心の中にもやややしたものがあるかもしれない。教員が些細な変化に気づき、声をかけると、生徒は様々な不安や心情を話してくれる。また、スマホ使用時間が圧倒的に増えており、SNSを通じたトラブルが急増している。
→生徒会を中心に、スポーツ大会を実施し、感染対策を行いながら盛り上がることであった。
→コロナ禍でも、部活動は精一杯活動できるようにしている。
→生徒だけでなく、保護者にもコロナウイルスに対する不安を感じている部分がある。
 - ・平成21年度から就職者が増えてきているのはどのような影響だと考えているか？
→理数科からの進学希望が多かったが、その理数科がなくなったためではないか。
→当校がこの中濃地域で存続する道を模索する中で、地域への就職が増加したのではないか。
 - ・生徒の自己肯定感を育む必要があると感じるので、引き続き真摯に向き合っていただきたい。
→生徒の自己肯定感を高める活動を行っていききたい。
- 感想&意見4
- ・先生方がスムーズな授業を展開していた。
 - ・将来を考えた職業選択ができるようにキャリア教育の充実をしていくことが大切である。
- 感想&意見5
- ・新型コロナウイルス第3波到来の可能性が高いので、タブレットを活用したオンライン学習の充実について考える必要がある。
 - ・デジタルとアナログのそれぞれの良さを生かすことで、よりよい教育につながる。
 - ・コロナ禍でも生徒主体の活動を増やすことにより、生徒の自己肯定感が高まる。
→様々な視点からキャリア教育を行うことにより、生徒だけではなく保護者も安心できる。
 - ・就職者が多いということなので、礼節の指導を行っていきとよい。
- 感想&意見6
- ・中国・アメリカ・韓国に比べて、日本の生徒は自己肯定感が低いので、本校生徒の自己肯定感を育むために、どんどん褒めてあげてほしい。
 - ・地元の企業・大学に本校生徒が必要と思われるような教育を行ってほしい。
 - ・参観授業で行われていたように、コロナに対する正しい考え方やハラスメントの防止を指導していただきたい。

6 会議のまとめ

本日は来校していただき、授業での生徒の様子やICTの活用状況を見ていただいた。委員の方々からのご意見を参考にして、さらなる改善に努めたい。